

## 就任のごあいさつ



副議長  
二階堂 博



議長  
西川 健三

私どもは、改選後初の議会となる9月定例議会におきまして、議長、副議長にご選任いただきました。誠に身に余る光栄であり、その任務と使命の重大さを深く感じ、身の引き締まる思いでございます。

地方分権改革が進展する中、地方議会に対しましては、政策立案能力の向上や議会改革の推進などが求められております。もとより、議事機関である議会と執行機関である市長は、お互いに対等の立場に立ち、市政の両輪としてそれぞれの役割や権限を尊重しあい市民の期待に応えなければなりません。

議会は、市民の皆様からのご負託を受け市民の声を市政に反映するため、市民の目線に立った議会審議を行い、市民の皆さんから信頼される議会とならなければなりませんと考えているところでございます。

現在、大竹市におきましても大竹駅東口整備事業や小方小・中学校の移転改築事業、それに伴う跡地利用などを含めた小方のまちづくりや玖波駅西口の整備などは、今後の大竹市の活性化や定住対策にとって重要な課題でございます。

こういった「地域のまちづくり」に対しては、市長からの政策判断に先立ち、議会として提案を行うなど積極的に関与することにより、市民の代表たる議員としての役割を果たす必要があると考えているところでございます。

以上のことから引き続き「まちづくり対策特別委員会」を設置してより深く調査研究を行うとともに「岩国大竹道路対策特別委員会」や「安心安全対策特別委員会」とも連携を図りながら進めてまいりたいと考えております。今回さらに「広報広聴特別委員会」を設置し、議会の活動状況についての広報活動はもちろん、市民の意見や思いを受け止めるための広聴活動についても調査研究していくことといたしました。

今後におきましても円滑な議会運営によって議会が市民の皆さまのご意見をしっかりと受け止め、「ふるさと大竹」のために力一杯の努力をしてまいります。どうか、市民の皆さま方におかれましてはより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。まして議長、副議長就任にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。